

研究テーマ名: Bluetoothを用いた回遊行動調査の可能性の検討
 研究派遣先: ユニバーシティカレッジロンドン/ロンドン/イギリス
 研究期間: 2018年7月30日～2018年9月7日

工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻1年 久保山 凌
 社会資本計画研究室(山口行一研)

研究内容について

近年、世界的に情報技術が発展しており、そこで得られるビッグデータが様々な場面で活用されています。そのような中で、本研究では、駅構内(Manchester Piccadilly station)にBluetoothの受信機を設置し、そこで得られたデータをプログラミングを用いて解析し、データから得られる情報の活用方法の提案を目的とします。具体的には、ExcelVBAで解析プログラムを構築しデータの解析を行い、ビッグデータでしか得られないような人の動きや滞在時間について様々な視点から分析を行いました。今回わかった問題点などを改良して、今後は日本の地下街やまちなかでも同じような方法を用いて研究を行えるように、より詳細な分析を行っていきたいと考えています。

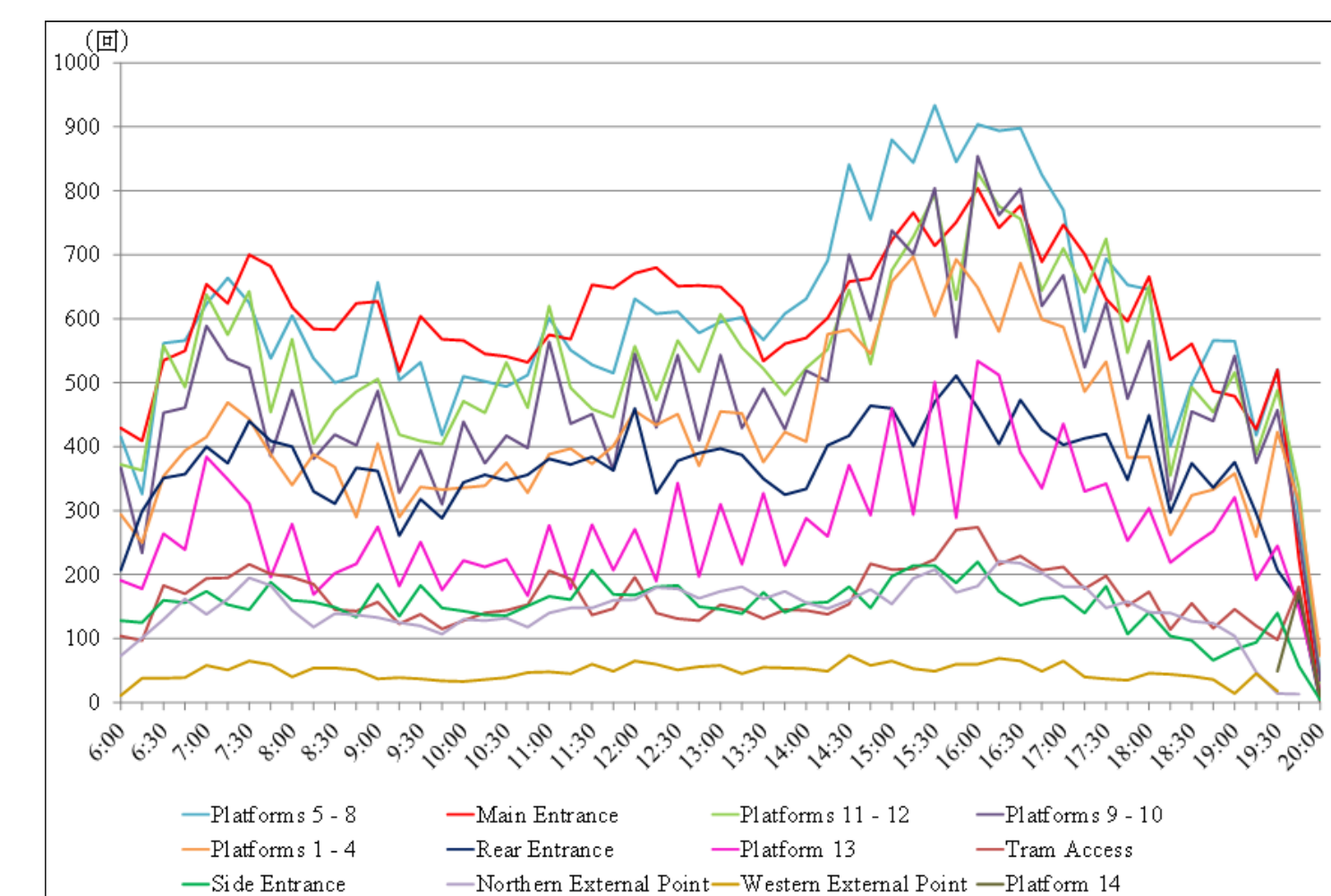


図 基地局別受信数の推移

大学・学部について

UCLは、英国で3番目に古い大学で、英国で初めて平等な基準によって女性を受け入れ、宗教・政治的思想・人種による入学差別を撤廃した大学です。また、QS World University Rankings において、2007年以降常に世界のトップ10以上の評価を受けている大学です。

私の在籍していた学部(Civil, Environmental & Geomatic Engineering) は、2017年で創設190年となった歴史ある学部で、英国の土木分野におけるトップレベルの技術者を現在も生み出し続けています。



現地での生活について

キャンパスがロンドンの中心部にあり、周辺には多くの観光地があるため、毎日まちなかは沢山の人が賑わっていました。英国はパブ文化が有名で毎日夕方になると沢山の人が集まっており、その様な場にも足を運んで英国の文化に触れてきました。

休日には、ロンドンの観光地や郊外に行き、観光を楽しむとともに、各地の交通システムについても学ぶ事ができました。

